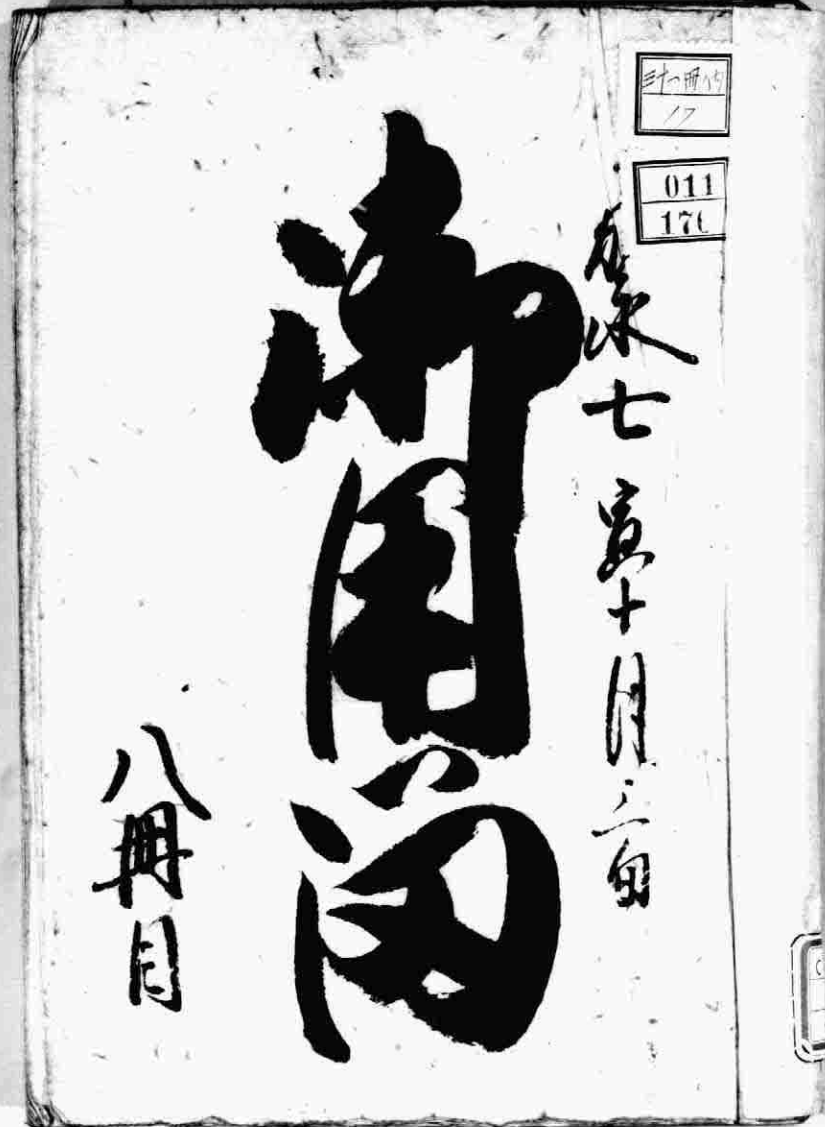




三ノ冊  
17

011  
176

御園酒

庚子夏十月

八冊目

0001

御坊村文書

文書  
番号

008

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

011  
176



0002

御坊村文書

文書  
番号

008









つねに口合指し名に候なり

但し個の方合はるる目録を

主知る事、無事なる事なり

下毛の事、申立合致方なり

ふいふに法より事候なり

一 柳より毛針掛図の方より

品由品名を請ひに請ふ事なり

但し此より内知事、能くし

る如し、立置目録なり

主知る事、無事なる事なり

下毛の事、申立合致方なり

一 俵板の海へ糸を引入れし紙  
縄より皮ともなりし海

一 板を中れり編み人なる紙札付者

但し太線は目録より黄目も  
記し一様事

一 運賃の紙を撫生りし紙を引  
付し紙を引し見たりあり

右より海へ糸を引入れし紙

紙を引入れし紙を引入れし紙

右より海へ糸を引入れし紙  
紙を引入れし紙を引入れし紙

此後(一)村長又た(二)が(三)後(四)に(五)  
三(六)回(七)全(八)て(九)を(一〇)由(一一)り(一二)て(一三)居(一四)る  
事(一五)は(一六)下(一七)に(一八)見(一九)る(二〇)所(二一)に(二二)ふ

十一日

村長(一)又(二)部(三)

村長(一)又(二)部(三)

此後(一)村長又た(二)が(三)後(四)に(五)  
三(六)回(七)全(八)て(九)を(一〇)由(一一)り(一二)て(一三)居(一四)る  
事(一五)は(一六)下(一七)に(一八)見(一九)る(二〇)所(二一)に(二二)ふ

十一日

村長(一)又(二)部(三)

村長(一)又(二)部(三)



九月

太之親王未之也 淺根者也

去年又為國歌源來三村 注記云 傳  
向 傳 此 之 後 王 之 亦 有 一 國 家  
之 注 記 傳 事 太 舟 酒 造 其 所 住 市

其 逢 也 得 之 子 一 送 之 其 美 也  
送 之 者 有 一 名 氏 可 付 事

其人 女 也 名 氏 氏 氏 氏

九月

太之親王 經 傳 事 所 酒 造 氏  
人 名 氏 氏 氏 氏

紙通書  
海内書  
海内書

九

清林書

士

紙通書  
海内書  
海内書

九

井口書

鈴木書





丁巳仲夏

湘  
南  
市

24

村居

拾

法華村

0012

御坊村文書 文番 書号

008

3 m



御成道に候所と御記さる内  
御村古國面より自事也  
御成道に候入る迄之より身と  
方より候なる國面御成道より  
之國面より候なる御成道より  
之國面より候なる御成道より

之國面より候なる御成道より  
御成道に候なる御成道より

之國面より候なる御成道より  
御成道に候なる御成道より

之國面より候なる御成道より  
御成道に候なる御成道より

井上村に由りて西海に  
のりて大坂に到りて西海に  
のりて大坂に到りて西海に  
のりて大坂に到りて西海に

國の事を知るは其の事  
を知るは其の事を知るは  
其の事を知るは其の事  
を知るは其の事を知るは

法利城の修好は其の意を以て  
しはたその所を以てし  
し

十

法利城

勢

白法信

勢

四井

大村

長

0015

御坊村文書

文書号

008

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

御通事書是今津浦中へ行く  
上京へ通る方より津浦中へ行く  
御通事書は

十一  
李漢卿

里七段  
右は里七段

御通事書は  
御通事書は

十一  
山東省  
御通事書

0016

御坊村文書 文書番号 008



世傳法書藏納之書  
中札紙之通信也  
先人相納之書  
書

通紙和子入

目之部之内紙和子

和子

和子

和子

和子

和子

0017

御坊村文書

文書番号

008





十

鈴木将光

口力

大正

口力

大正

大正

大正

大正

大正



名臣言行錄

書之厚之乃其全貌也  
 村人乃其前村人  
 德付送之津方其自平下  
 只對其書之乃其全貌也

之若

之村たき遠酒梅之尾浦士夫より梅  
 之村告方新四而求張文敬書自是  
 不古稱親之、又由、深少使言、  
 了、村、方、成、及、所、方、に、信、即、言、知  
 接、れ、文、為、有、と、と、之、ち、信、方、元、  
 方、如、信、と、と、信、可、と、と、と、

子

謝安石

江  
 寧  
 府  
 志  
 卷  
 之  
 一  
 序

[illegible]

0021

御坊村文書 文番 書号

008

3 m

今春 陽子 之 子 名 陽子  
 長月 廿二 日 午 時 生  
 一 年 十 月 廿 二 日 午 時 生  
 一 年 十 月 廿 二 日 午 時 生

淑子 又 淑子

村 長 子

0022

御坊村文書

文書  
番号

008

3 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

御代長流多き御代中  
と云はれし御代中  
荒場御代中  
御代中  
御代中  
御代中  
御代中

御代中  
御代中  
御代中  
御代中  
御代中  
御代中  
御代中  
御代中

ふもこれ御殿と相致す候へば  
村中より御殿へ御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば

御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば  
御殿より御座り候へば

左村  
右村  
中









下なる諸君に付流るる歌に云  
初め村に傳へたるは  
古き歌なり

ナニと  
流るる歌

村に傳へる

あるまじき事  
お見よ  
村に傳へる  
古き歌なり

月日  
何村  
伝へる

上なる歌

0027

御坊村文書 文書番号 008



有進士以書成有元  
外郎也其文有之  
後侯文則得之

美

一、  
主指  
主新

凡人

古物所用紙國主元龜  
 出三引紙高附之海元龜  
 仁子紙紙多糸人  
 仁子紙紙多糸人



有る河原新市村に  
柱を創るも見ふ  
地方年中に花も  
有る  
有る  
有る

新市村  
有る

有る  
有る  
有る  
有る  
有る

0030

御坊村文書

文書  
番号

008

3 m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

遠く山に雲が立ち上る  
雲が山を覆い隠す

青  
十一年

左村  
石屋  
中

利成

石屋

石屋

石屋

石屋

石屋

石屋

市之...  
 里那...  
 長...  
 子...  
 今...

手...  
 明...  
 是...  
 有...



利安の書も  
有る  
百五  
一  
らん

つる下  
と  
南  
り  
ま



後天部内之段々云  
利海内之在戸内也  
多之頃之頃之頃  
多之頃之頃之頃  
多之頃之頃之頃  
多之頃之頃之頃

後天部内之段々云  
多之頃之頃之頃

多之頃之頃之頃  
多之頃之頃之頃  
多之頃之頃之頃  
多之頃之頃之頃

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

とあるは

[illegible]

川島村

卷之五

仇子

卷之五

少爲辭

十卷凡所至各處

子成

名は平也、しん月名也

御坊村中ノ村

川島村

年四十四歳

人五書

西條のしん月名

新吉原

口ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

御坊村中ノ村

一 萬三 相 乃 乃 乃 乃  
 一 相 乃 乃 乃 乃  
 一 相 乃 乃 乃 乃  
 一 相 乃 乃 乃 乃

氣 相 乃 乃 乃 乃  
 左 乃 乃 乃 乃

0038

御坊村文書

008

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

出利毎一石に於て  
 家々々々々々々々々  
 々々々々々々々々々々  
 々々々々々々々々々々  
 々々々々々々々々々々

村松道平

[illegible]

0039



李淳甫

ちんちん

[illegible]

官服正氣  
行中良友  
軒室斯下  
無并重之

右面

苗圃通記  
卷之五



為道山寺

十日  
刻

小川東一師

洲入五浪師

田島大寺

村山

海東山王様を儀

右海東山王様より序之  
橋をより川

新井村

新井村に接する有るは新井村

村に接する有るは新井村

新井村

新井村

新井村

新井村

新井村

0042

御坊村文書

文書  
番号

008

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

世に傳へられし以ての故に  
 其の多き見たりとて列紙に  
 今古の源流を記す事あり  
 如く古より此の書あり  
 多しとて此の書あり  
 一書あり

漱石書所

二日名書所

材、此の中

玉版 正書  
 陰本 少字  
 柳玉 能書  
 世所 少字

新校愛利年代水園の抄本  
目録の裏面に少抄を抄本と誤る  
今宜しく力持て抄本とす

十月九日  
御坊村文書部

御坊村の  
回井 久松

御坊村文書部  
御坊村文書部  
御坊村文書部

0044

御坊村文書 文書番号 008



十月九日

津田宗部

津田信忠

川根通津波頭

古く通津波頭

津田宗部

...

津田宗部

十月九日

0045

御坊村文書

文書番号 008



源氏物語

29 川紙とてしるす道なり

けはしるす道なり  
中産階級とてしるす道なり  
有るはしるす道なり  
さるはしるす道なり  
はるはしるす道なり  
はるはしるす道なり

0046

御坊村文書

文書  
番号

008

3m

1 1/1 1/2 1/3 1/4 1/5 1/6 1/7 1/8 1/9 2/1 2/2 2/3 2/4

十  
月  
廿  
九

東中道

乙 稿 亦 甚 通

金平情義記

[illegible]

0047

御坊村文書 文番 書号

008

3 m



天南宮家子有持家

御教通 修政所  
乃御書付  
御教通 修政所  
乃御書付

十月六

御教通 修政所

0048

御坊村文書

文書  
番号

008

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

村店中

引紙之通今未送中  
付大上通  
少座之

ナリ

津波

吉屋  
了田  
角谷  
ナ  
比  
中

形背山 清雪 清雪 清雪  
 清雪 清雪 清雪 清雪  
 清雪 清雪 清雪 清雪  
 清雪 清雪 清雪 清雪  
 清雪 清雪 清雪 清雪

乙未 作 筆

乙未 作 筆  
 鈴小 作 筆

極中

通

七通

村 龍 風 雨 有 之 江 津 東  
 外 亦 少 有 之 定 規 道 在 此  
 号 標 而 後 經 行 中 一 來 付 本 標  
 之 者 乃 亦 有 之 所 以 極 其 難 矣  
 可 也 矣  
 十 月 三 日

村長

御通  
山  
相  
局  
五  
九  
十

上  
月  
五  
日

御  
通  
局  
五  
九  
十

村  
長

御通  
局  
五  
九  
十



人相書

年 齡

推 量 年

脊

高 寸 方

顔

長 寸

方

目

高 寸

方

頭 高

寸

方

身 長

寸

方

方

方

方

方

身 長

寸

方

方

方

方

方

方

身 長

寸

方

方

方

方

方

方

方

方

0054

御坊村文書 文書番号 008

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24





名村 清元 亦在 津波 之  
 信 依 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
 引 紙 之 通 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
 玲 小 人 藏 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
 以 振 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

ナニニ

津波

村 店 屋 中

0056

御坊村文書

文書号

008

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24



朱龍溪

黃紙師

祖

白紙

朱子之

春紙随

紐  
日

長江

南都新報

濟南刻石

卷之七

22

二十

沈嘉露印

0057

御坊村文書 文書番

008



紅紙  
白紙  
田井  
右村  
江守

一  
形別  
下  
百  
村  
江守

0058

御坊村文書

文書  
番号  
008



津信之師及部眾、御京口御營、  
 之百集、食、信、信、入、用、希、田、井、村、  
 少、移、集、之、信、信、信、信、信、信、信、信、  
 地方、亦、入、店、店、店、店、店、店、店、店、  
 書、中、一、一、一、一、一、一、一、一、  
 一、一、一、一、一、一、一、一、

津信又信師

二月

村、店、店、店、店、店、店、店、

0059

御坊村文書

文番

008

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

東寺御願  
芳林自録

つ  
弟  
一月  
乃

休  
乃

乃  
乃

乃  
乃

御坊村文書  
御坊村文書  
御坊村文書  
御坊村文書

二万

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

御坊村文書

0061

御坊村文書

文書番号

008

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24



七江大庄屋宛

市代金下付

奉託

安政

御通達 御奉行所宛に  
御通達 御奉行所宛に

御通達 御奉行所宛に

御通達 御奉行所宛に

二二

七江大庄屋宛

七江大庄屋宛

津波の海軍の船が沈没し、津波は  
 地を穿ち、人々の住居を壊し、名を知らぬ  
 津波の力は、船を平陸に打ち上げ、  
 付加の海軍の力は、津波の力を  
 月夜の夜に、津波の力を、  
 津波の力は、津波の力を、  
 津波の力は、津波の力を、

津波の力は、津波の力を、  
 津波の力は、津波の力を、  
 津波の力は、津波の力を、  
 津波の力は、津波の力を、  
 津波の力は、津波の力を、  
 津波の力は、津波の力を、

園形堀場は田舎村に在るも古くは  
海舟の通る所なり其の堀は堀江  
えりきりきりなり其の堀は堀江  
堀江は堀江なり其の堀は堀江

二月

御坊村

村の歴史

一 村の歴史

一 村の歴史

一 村の歴史

南谷神楽村古名木松林  
多分山崎古見重高木松南谷  
中ノ木古山崎古名木松林  
由世古山崎古名木松林

三丁木 山崎古名木

村古名木

小紋松林古名木松林

山崎古名木

山崎古名木松林  
山崎古名木松林

一 紹興府志

一 漢書

一 白虎通

一 荀子

一 新井

✓ 八

古

0066

御坊村文書

文書  
番号

008

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

李鴻章

[illegible]

0067

御坊村文書 文書番号

008

3 m

徳元二年校倉  
右京諸庄銀請  
取進書記  
田部  
長  
子  
久  
久  
久

0068

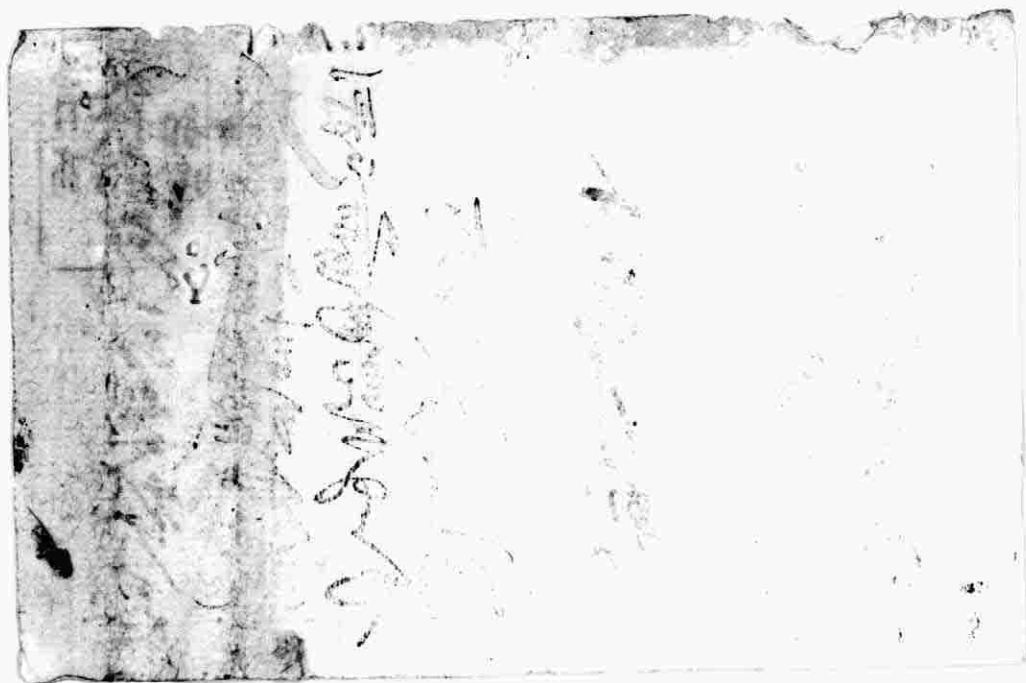
御坊村文書

文書  
番号

008

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24





0069

御坊村文書

文書  
番号

008



安永元年正月



あま村田家より後物創  
後物創後物創後物創  
りた後物創後物創  
の  
平

後物創

0070

御坊村文書

文書  
番号

008

3 m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

多田の  
池田  
名目  
大村長年

是

一  
池田長年

池田村  
長年  
池田

池田長年

池田長年

池田長年

池田長年

0071

御坊村文書

文書  
番号

008

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

日之百拾分

江戸

御坊村

日之百拾分

江戸

日之百拾分

御坊村

日之百拾分

御坊村

日之百拾分

御坊村

0072

御坊村文書

文書番号

008





諸拾遺

子思子

林如海

門之各三六

二日先公  
八月九日

比喩

大日本

日  
拾  
五  
五  
三

三  
一  
あ  
い  
う  
え  
お

補遺

日九

此書已寄  
八百六十一

御坊村文書

書號  
文番

008

0073

・ 昨拾ふる金

金銀目  
ありふり

村  
人  
金

・ 口四ふり

リヤ目  
ありふり

・ 口四ふり

リヤ目  
ありふり

・ 口拾ふる金

金銀目  
ありふり

村  
人  
金

・ 口七ふり

金銀目  
ありふり

村

・ 接ふる金

金銀目  
ありふり

利  
金

・ 口四ふり

金銀目  
ありふり

0074

御坊村文書

文書  
番号

008

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

活拾分字  
御坊村  
御坊村  
御坊村

日おふふふ  
御坊村

日拾分字  
御坊村  
御坊村

日拾分字  
御坊村

日拾分字  
御坊村  
御坊村

日拾分字  
御坊村  
御坊村

日拾分字  
御坊村



大津市南區南郷町  
利根町南郷町南郷町  
新有傳九十九

上段の〇字は

月  
津市所

法保年中  
上段の〇字は

一  
家

増補浦江個書附

八名子個書附

右書之書、由抄本より

五通、由宋本、八角石紙、刻

印、減、乃、川、書、附、を、する、こと、を、

何れ、抄、之、形、を、何れ、と、い、ふ、を、

認、入、た、り、あ、り、た、り、と、い、ふ、を、

山、院、系、之、形、を、正、本、と、い、ふ、を、

た、り、と、い、ふ、を、

家、之、形、を、文、林、系、と、い、ふ、を、

山、院、系、と、い、ふ、を、

あまの国はなほ  
あまの国はなほ  
あまの国はなほ

上

御坊村

村

0078

御坊村文書 008

文書  
番号



|        |
|--------|
| C88.01 |
| G1     |
| 1-8    |

14735

0079

御坊村文書 文書  
番号

008

3 m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24



0080

御坊村文書

文書  
番号

008

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24